

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		通信会社（管理担当）	・8月に新料金サービスを販売開始したことで9月も販売の活発化が見込まれる。また、11月には、新端末の販売も想定されており、今後やや良くなる。	
		ゴルフ場（従業員）	・昨年以前と比べても、特に週末の予約が満杯になっていることから、景気は良くなる。	
	変わらない		商店街（代表者）	・空き店舗が若干増えている。商店街にあった飲食を中心とした魅力的な店舗が郊外へ転出し、その後に魅力的な店が入らない。
			スーパー（店長）	・消費者は、将来に対する不安からか、支出を切り詰めている。
			スーパー（店長）	・ガソリン等についても値下がりする様子もなく、徐々に商品の単価が上昇していることから、景気は回復しない。
			スーパー（企画担当）	・秋物商材が売り出されるが、残暑が厳しく商品の回転が良くならない。
			スーパー（財務担当）	・原油高・原材料高の影響を受けて、原価が徐々に上昇しているが、価格への転嫁は難しい。
			衣料品専門店（経営者）	・購買意欲があまり感じられない。
			衣料品専門店（経営者）	・残暑が長引くと予想され、秋冬物の売上が期待できない。
			乗用車販売店（従業員）	・秋の新型車が2車種発表されるが、ガソリン代の高騰や地方の不景気感があり、市場はあまり活性化しない。
			住関連専門店（経営者）	・計画ほど、金額・数量が伸びない。
		旅行代理店（従業員）	・シルバー世代を中心に旅行ニーズは強く、10～11月出発の旅行相談・予約などの来客数も多い。また団体旅行についても職場旅行が多少復活しており、秋の旅行シーズンも引き続き好調に推移する。	
		タクシー運転手	・乗客の話では、給料ダウン、ボーナスカットという声が本場に多い。	
	やや悪くなる		百貨店（営業担当）	・2か月ぐらい前から、客の動きがかなり少なくなっている。にぎわった日の翌日の落ち込みがひどく、今後もこの傾向が続く。
スーパー（統括担当）			・ここ数年間、客単価が96%ぐらいで続いており、下げ止まっていない。	
乗用車販売店（営業担当）			・この秋にかけて小型車のモデルチェンジが行われるということで、既に8月から若干上向きになっている。一方、軽自動車はその予定がないために、多少小型車に食われる部分が出てくる。	
都市型ホテル（経営者）			・これから秋の行楽シーズンに入るが、予約状況が今ひとつである。	
設計事務所（所長）			・比較的新しい賃貸マンションでも空室がかなりあり、家賃の値下げが起きている。	
悪くなる		衣料品専門店（経営者）	・年金問題等の社会的不安から買い控えをしている。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		繊維工業（経営者）	・当社の取引先は、従来、タオル問屋を経由し百貨店へ販売していたが、最近は専門店への直販割合が増加している。専門店では消費者が好みの物を積極的に購入するなど、消費動向に変化が見られる。	
	変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・小売への転嫁をしないとコスト高は吸収できず、さらに採算は悪化していく。
			一般機械器具製造業（経理担当）	・雪の季節を前に、東北や北海道の受注が今後若干見込まれる。製品への価格転嫁をせずに、厳しい価格競争を行っている。
			一般機械器具製造業（経理担当）	・クレーンの仕事量は、目先多少の増減はあるものの、6か月～1年先の仕事量は概ね確保しているため、ユーザーマインドは総じて悪くない。
			建設業（総務担当）	・手持ち工事が増えており、今後、赤字受注は回避できるが、適正利潤の確保は難しい。
			輸送業（支店長）	・9月になっても燃料は高止まりで推移していくものと思われる。一方物量増は見込めず、運賃への転嫁も、一部でその兆しは出つつも、まだまだ先の見込みである。

	広告代理店（経営者）	・新聞広告・テレビ広告等マスメディア広告費削減の話が多く、全体としても広告費が減少の見込みである。	
	公認会計士	・各企業の経営者の話などを聞くと、資金繰りがうまく回っていない企業が多い。また、不動産について、積極的に投資をしよう、あるいは購入しよう、設備投資をしようという企業が少なく、景気は変わらない。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・製造業の会社の大規模な設備投資があるが、県外から非常に多くの企業が競争に参入したため、単価が低く受注できない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・急激な円高に伴い、輸出採算が悪化している。	
	通信業（支店長）	・番号ポータビリティ制度導入から1年が経過し、市場が沈静化する。	
	不動産業（経営者）	・春以降、消費者のマインドがかなり冷えている。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒関連の商品の充実度が高く、ニーズに対応できている。今後3か月が新卒系の受注のピークなので、やや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・新規案件は鈍化気味だが、既存案件は安定している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・夏以降、もう少し求人が増加すると予測していたが、思ったほど伸びない。
		民間職業紹介機関（所長）	・中途採用において、業種・企業により格差が生じている。また同業種間においても、人手不足感のある企業と人余り傾向にある企業がある。
		学校〔大学〕（就職担当）	・就職活動が極めて緩やかで、しばらくこのまま推移する。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人数は昨年より増加しているが、パート求人による増加である。正規型を望む求職者が増えていることから、就職者がより増加するとは思えない。
		職業安定所（職員）	・原油高、材料の値上がり等で、経営が厳しくなっている企業が増加しており、景気はやや悪くなる。
悪くなる			